

● 新入会員 ●

特別地区会員 2社(2口)

—11月分—

—10月分—

アイシン高丘(株)(1)(東海支部)

[事業内容]自動車部品製造メーカー

(株)奈良機械製作所 北海道サテライト(1)北海道支部

[事業内容]粉粒体処理装置の製造, 販売

—11月分—

海外正会員(1名)

ヌマタ龍範 (京都工芸繊維大・京都)

正会員(10名)

孟 烈 (地球環境産業技術研究機構・京都)

平井 優輝 (京都工芸繊維大・京都)

伊藤 智宏 (名工大・愛知)

福嶋 賢悟 (神戸大・兵庫)

イワモト トモユキ

藤井 美月 (静岡大・静岡)

(トクヤマ・山口)

学生会員(18名)

藤本 剛 (東京農工大・東京)

上原 友輔 (神戸製鋼所・兵庫)

青木 悠亮 (静岡大・静岡)

FANG ZHENGXIONG

菊池正太郎 (クラレ・茨城)

兎洞 海斗 (東京都立大・東京)

(岐阜大・岐阜)

木村 拓雅 (中央大・東京)

奥泉 達也 (東京農工大・東京)

松本穰之介 (大阪府立大・大阪)

齋藤 浩一 (千葉)

小島 伊吹 (山形大・山形)

森 健登 (静岡大・静岡)

実近 翔 (ツムラ・茨城)

櫻田花菜穂 (法政大・東京)

矢野健太郎 (大阪大・大阪)

鈴木 清 (福井大・福井)

篠田 泰成 (東工大・東京)

叶 静遠 (京都)

田中 輝彦 (産業技術総合研究所・茨城)

宋 玉 (広島大・広島)

馬場 廣海 (マルホ・京都)

谷口 遥華 (京都工芸繊維大・京都)

SCE・Net コーナー

情報ネットワーク(SCE・Net)に参加して人生を享受しませんか

高齢になると身体のどこかに不具合が出て体力が落ちるばかりか、物忘れや認知機能が怪しくなることを実感する。家族に迷惑をかけずに、健康寿命を延ばし、ずっと元気に過ごすために地域の高齢者を対象にした「いきいき体操」に参加してみた。「いきいき体操」に加えて健康寿命を延ばすには、1日1回以上の外出、週1回以上の友人・知人との交流、月1回以上の楽しい・やりのある活動の3つを実践することを勧められた。コロナ禍で第2の活動は制約されたが、第3の活動はSCE・Netの活動があり、リタイア後に社会貢献に繋がる活動の場があることは化学工学に携わったシニアエンジニアの特権かも知れない。

パソコンでSCE・Netの活動に参加するにはスキルがないから諦めるという方も心配ご無用。事務局の鈴木さんがマニュアルを作成していて懇切丁寧に指導してくれるのもSCE・Netの魅力だ。政府がコロナの3密回避策として自宅や近隣のオフィスでテレワークを活用することを推奨しているが、SCE・Netは昨年からは年4～6回開催する技術懇談会、各研究会の会合、幹事会を全てZoom機能を用いて実践してきた。何より自宅で気楽に参加できるし、参加者同士が顔を見ながら会話できる点は、Face to Faceの会話と同じ気分感じられる。インターネット環境さえあれば、いつでも、どこでもSCE・Netの活動に参加できるメリットは計り知れない。ただ、リアル飲み会ができない物足りなさ、寂しさはあるが。

対外発信・交流グループの活動は、化学工学会春の年会での産業セッションシンポジウムの企画運営、年4回程度の会員講師と様々な分野の外部講師を招く技術懇談会と懇親会の開催、SCE・Net会員が創作活動として、随筆、オピニオン、レポートのほか、短歌、詩、短編小説、童話などを発表する「窓」を運営しており、SCE・Netのホームページに掲載している。SCE・Netに参加してみようと思われる方には、まずは技術懇談会への参加をお勧めしたい。

(SCE・Net副代表幹事 川瀬 進)